

宇工高同窓会々報

同窓会長

あいさつ

同窓会長

増 淵 芳 男



新春を迎えお目出とうございます。

さて昨年は知事改選の年に当たり同窓会顧問の福田富一候補が立たれ、全県に渡り同窓の皆様には特段の援助、協力を戴き十二万票もの大差にて当選、新知事に就任された事は宇工創立以来初の出来事に於て誠に感激に耐えません。同窓の皆様には重ねて厚く心より御礼申し上げる次第です。

本校は大正十二年亀城の西、

現在の京町の地に開校、創立八十周年も過ぎ今年迄に三万名もの卒業生を輩出。地元はもとより全国各地の産業界に活躍され「一人は一校を代表す」の校訓の伝統を堅持し、先輩、後輩の別無く終生忘れ得ぬ心得として歩んで居るものと存じます。

宇工高は先輩の築いた輝かしい歴史を土台に、人に優しい環境課題に対する識見と行動力を備えた工業技術者の育成と言う新たな伝統を掲げることにいたしました。

また、本校は科学技術高校化構想に依り、近い内にワンランク上の工業高校として(移転又は改築)されることと思われまます。

素晴らしい伝統の上に新しい高度な技術を学び二十一世紀にふさわしい工業人となる様努力される事を期待致します。

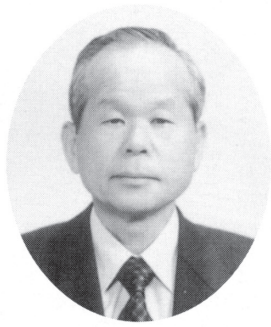
最後に母校の更なる発展と同窓の絆が益々強くならん事を

を祈念し会員皆様の健康と御多幸を祈念申し上げます。

いあいさつ

学校長

岡 田 義 治



謹んで新年の祝詞を申し上げます。同窓会の増淵会長様はじめ、同窓会役員及び会員の皆様には、ご健勝にお過ごしのことと存じます。

私は、昨年四月に高桑正克校長の後任として着任した岡田義治です。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

本校は、一昨年創立八十周年

年を迎え、盛大な記念式典を行いました。この記念事業の一つとして「ISO14000」の認証を全国に先駆けて取得し、卒業生を特に「グリーンエンジニア(人に優しく、環境課題に対する識見と実践力を備えた技術者)」と称しております。

さて、宇工の今後の課題は「学校の整備」です。県教育委員会が示した高校再編前期計画(平成十七年度(五年間))では、宇工は、科学技術高校として「整備に着手」する、と明示され、改築や移転・新築の敷地が決定されます。現在、科学技術高校検討委員会の作業部会(県内の工業高校の教員)で、基本構想の設計に必要な基礎データの集積を行い、同時に、校内でも将来の宇工のあるべき姿について意見の交換を重ねております。現段階では、従来の建設系・電気系・機械系の小学科に、環境系の学科を加えては、という意見があります。今、本校に勤務している教職員が、将来の宇工の的確な展望を提言し、発展性のあるコンセプトをまとめておく事が使命と考えています。私も、その先頭に立って参画したいと思っておりますが、将来を待たずに、今、

種を播くべきことが三つあると思います。

一つは、我が国が科学技術立国を戦略としていることから、ドイツのマイスター制度をイメージした、デュアル・システムによる教育を目指し、また国際理解教育の一環としても、ドイツの技術系学校との交流と行うべきだと思います。

二つ目は、これからの高校の工業教育は、地域から信頼される人材の育成と具体的な地域貢献が必要です。地域が求める「創造的・具体的なものづくりができる」こと、例えば大地震等の災害時に必要な仮設のプレファブ住宅を、本校に設置されている各科の技術を総動員して供給する、などの実践的な技術教育を一層推進する学習プログラムの各科連携が必要となります。

最後に、いつの時代にも不易な、誠実で思いやりのある、勤勉で意欲的な「世界に掛替えのない美しい日本人」を代表するのが、宇工卒の技術者である、と称えられるような、そんな人間教育を、宇工が率先してまず始めるべきである、と思ひます。

宇工高卒業生として

一人は一校を代表す

昭和46年度 建築科卒業
栃木県知事

福田 富一



言わずと知れた、我らが宇工の校訓であり、先輩から後輩へ連綿と引き継がれた宇工の魂そのものと考えている。

さて、私たちを取り巻く日本は二十一世紀を迎え、急速に国のあり方を変えようとしている。原因は様々考えられるが、戦後の繁栄を支え続けた経済の減速がその大きなものとの認識は、多くの国民が共有するところであると思う。結果、私企業の業績低迷のみならず、政府や地方自治体の財政状況が悪化し、国民意識の多様化とともに治安の低下や、少子化などにもつながってきている。

しかし、こういったネガティブ(否定的)な側面だけを捉えて、社会全体が悲観に包まれたのでは、私たちの未来は閉ざされてしまう。今こそ、旧弊をのぞき、新しい国のあり方、二十一世紀の日本人としての価値観を我が手で打ち立てねばならない。

これはもちろん、県政も地方自治にあっても同様である。「三位一体の改革」を始めとする地方分権確立に向けた動きは、国

そのものを脱皮させる重要な契機に他ならない。

そこで私たちの栃木県である。県民が主役となる自治を起点に、市町村の自立を確かなものとし、全ての地域が遍く輝きを放つ県。私は、そのような県づくりを進め、地方自治のビジネスモデルを全国に提案していきたいと考えている。そして、その基礎となるのが「県民一人ひとりが、一つひとつの市町村が栃木県の代表」という、宇工の校訓そのものの精神なのである。県内外で活躍されている卒業生の皆さん、新しい県づくり、国づくりに御協力を御願いたします。

生きていく道

昭和15年度 建築科卒業
東昭建設㈱代表取締役会長

出口 昭

初めに、宇工高創立八十二年、三万名の卒業生の中から、この度、栃木県知事になられました福田富一氏に敬意を表するとともに、同窓生として心からお祝いと感謝を申し上げます。お目出度うございます。諸々厳しい状況下の我県を頼みます。私が卒業をして六十五年になり、年齢八十四を迎え、長い間人生を生きてきたけれども、やはり人は人をあててはならない。自分でとにかく道を開いて、納まりたいなと思うのが一生の考

え方であります。一生を生きたいこうとすれば、あらゆる事にぶつかって行くだろうけれど、その一つを、全う出来るか出来ないかなのであろうかと思えます。

ただ我武者羅に練習に明け暮れた体操部時代。宇工の体操部の第一期黄金時代は昭和十二年頃から十四年でしたが、この間に保科先生という素晴らしい恩師のおかげで、神宮大会(現国体)で準優勝し、全う出来たのが、今、振り返れば後々の我人生の心身共の礎になったのだらうと思うのです。何でも自分らしさを出すのは難しい事です

が、若い時代はとにかく体を鍛える事を先輩にお願いしたい。やはり、何かを持って卒業して頂きたいと思うのです。

この写真は一月十四日、些少ではありますが、今回三十二回目になる出口文庫の図書贈呈を福田知事に手渡しさせて頂いた時のものです。新年早々、本当に嬉しい一時でした。

これから残すところそう長くはないであろう私の生きていく道は、率直に、正直に、自分を飾らず、真剣に立派に生きていきたい。欲望もひっくるめて、人助けもしたいし、人に暖かい心も持ちたいし、ニコニコして生きて生きたい。それが老兵の想いです。建設業も生き残れるかどうかの厳しい状況ではあります。『なにくそ!』と気合を入れて、なんと

しても頑張らねばと思っております。



終わりに、母校の更なる発展と同窓会皆々様の益々のご健勝を祈念申し上げ、一卒業生の近況と致し申す。また、このような機会を頂けた事を感謝申し上げます。

宇工同窓会報寄稿文

昭和25年度 電気科卒業
㈱長瀬文具店

会長 長瀬 弘



私は昭和七年宇都宮市二荒山神社門前の曲師町で生まれた生粋の

宮っ子、七十二才になります。宇都宮市立中央小学校を六年で卒業、県立宇都宮工業学校へ入学、学制改革により宇都宮工業で中学三年、高校で三年の六年間を学び卒業となりました。

新制の工業高校になってからは、スポーツも盛んになり、クラス四十名の内三十名は各部に入り野球・バレー・バスケット・ハンドボール等の球技はもちろん体操・陸上等国体選手として大勢の県代表を送った事

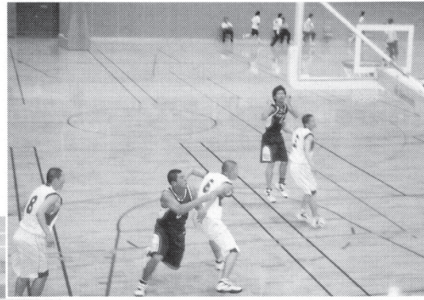
等、想い出深いものがあります。終戦間もないことや、復員兵の帰国等により、就職難の時代で東京電力(株)・現在のN T Tに入社することも至難の時代でしたが、進学、自営を除き大部分が就職できたと思います。異色は大学卒業と同時に高文の国家試験に合格、検事として弁護士となり現在も活躍している櫻井清先生や国家公務員・教員・議員として各界で活躍して国家褒賞の受賞の栄に浴された方々も大勢おられます。在学当時の担任の先生方も少なくありませんが、唯一電気科の高井先生が年一回のクラス会(△デルタ三五会)に今でも出席にされ当時の回顧談に花が咲き、宇工高の伝統と当時の生徒の優秀であったこと等、話題が尽きませんでした。

私も去る十一月二十五日、東京で産業教育振興中央会百二十周年記念行事のなかで産業教育功労者として文部科学大臣 中山成彬氏より受賞いたしました。が、栃木県産業教育振興会の常任理事・宇河支部長として三十有余年、微力ながら尽くしたことでこのことと思います。この産業教育振興会も昭和二十八年発足以来五十年を経て、県教委・産業界・学校の三位一体の連携により産業界の変遷と共に地域ニーズに即応した学科編成の実施等、事業を展開し発展してきましたが私もこの受賞を機に今後微力ながら振興会発展のため尽力いたす決意であります。

母校報告



▲秋季県大会優勝 野球部



▲バスケットボール部



渡辺貞夫氏（シヤズ奏者）を迎えて 音楽部



ラグビー部

下 野子 栄介 昌利 THE SHIMOTSUKE 2004年（平成16年）6月4日（金曜日）

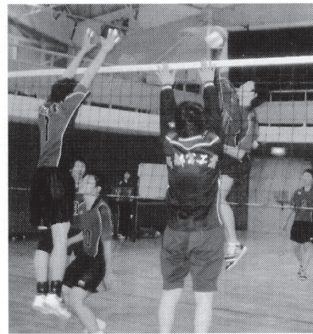


「工学的な着眼手法ユニーク」

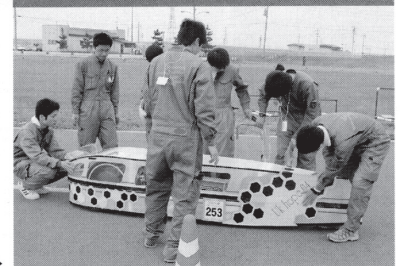
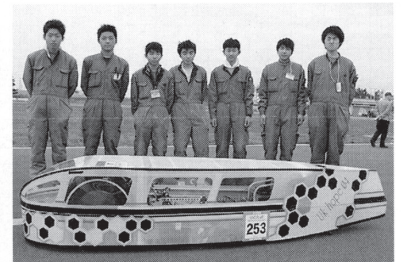
東大で宇高富工高生
「工学」の専門家として、宇高富工高生が東大で活躍している。その中でも、工学的手法のユニークな着眼点に注目している。...

カゲロウの研究 専門家に発表

カゲロウの研究は、宇高富工高生が専門家に発表している。その中でも、工学的手法のユニークな着眼点に注目している。...



▲バレーボール部



◀生産システム研究会

科学技術研究部▶

進路指導部報告

今年度の現在までの進路状況をお話ししたいと思います。全体的に見れば、就職、進学共に良好であると言ってよいと思います。

まず就職関係ですが、学校の斡旋を通して就職を希望する者一七三名全員が、すでに内定を頂いております。この状況は、景気の回復が多少見られ、製造業関連企業の求人数が増加したことによるものと考えられます。近年不況が続いている建設業関連企業においても、生徒の努力ばかりではなく、諸先輩方からの支援を賜り、希望者全員が社会人として羽ばたく準備が出来ました。他校では県外就職希望者が減るなか、本校においては三五名（昨年二五名）と人数が増え、これも本校生の積極性の表れだと思えます。企業の採用担当の方とお話をする、「まず宇工高から」という、ありがたい言葉を頂くことがあります。これは宇工高に厚い信頼を寄せ、本校生の将来に大きな期待を抱かれています。又、就職慣行の見直しを実施されて数年たちますが、本校生にはマイナスになるような影響もなく、就職採用試験に臨んでいます。このような結果、求人社数が県内二七九社、県外一九九社、合計四七八社（昨

年度末四二四社）と昨年度に比べ、一三％程度増加し、本校生が恵まれた状況にあることが分かります。これも諸先輩方が実社会や企業で活躍されているからこそ、頂ける評価だと考えます。深く感謝申し上げます。

次に進学状況ですが、大学短大希望者八四名、専修学校内定者六五名、産業技術学校内定者一四名となっております。四年制大学希望者が数名入試に挑戦中というところまできました。ここ数年間、進学者の数が就職者の数を上回っていましたが、今年度は久しぶりに二〇名程度下回りそうです。これは、専修学校への進学者が減少していることが主な原因だと考えられます。四年制大学入学者の中には、国立大学入学者が目立つようになりました。昨年は二二名、今年はこのまでに一四名の者が内定しています。一年次から自分の将来を考え、計画的に学習に取り組んだ者や、部活動に参加し、通常の授業だけでは学べない研究活動の成果を多くの機会で見せ、その実績を高めて来た者が、その実績を高評価され、進学内定を得ています。その他にも、新しい入試制度や、特別高校推薦枠を活かして内定を得る者も増加傾向にあります。どのような状況にあっても、三カ年を通して本校

短期大学等

宇都宮短期大学、文化女子短期大学、共栄学園短期大学、佐野短期大学、栃木県産業技術大学校、関東職業能力開発大学校、等

専修学校

日産自動車専門学校、日本航空専門学校、TBC学院、宇都宮日建工科大学校、東京デザイン学院、中央工学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校、国際介護福祉専門学校、マロニエ医療福祉専門学校、トヨタ東京整備専門学校、等

以上の今年度の進路状況の途中報告になりますが、これらの結果は在校生の努力ばかりでなく、諸先輩方の後輩たちへの熱い応援に因るところも多大であると思えます。これからも宜しくお願い致します。

平成15年度収支決算報告

(1) 一般会計

収入金 8,970,697円
支出金 3,595,225円
残金 5,375,472円

自平成15年4月1日
至平成16年3月31日

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△), 備考. Rows include 繰越金, 永久会員費, 入会金, 教育活動後援費, 雑収入, 計.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△), 備考. Rows include 会議費, 事務局運営費, 渉外費, 事業費, 教育活動後援費, 慶弔費, 予備費, 計.

(2) その他

① 基金

Table with 2 columns: 基金, 100,000,000. Includes 足利銀行、栃木銀行、農林中央金庫、中央三井信託銀行、商工中金、日光杉並木基金.

※基金利子については一般会計に組み入れる

平成16年度予算予算

(1) 一般会計

収入金 7,613,769円
支出金 7,613,769円
残金 0円

自平成16年4月1日
至平成17年3月31日

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 15年度予算額, 16年度予算額, 増減(△), 備考. Rows include 繰越金, 永久会員費, 入会金, 教育活動後援費, 雑収入, 計.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 15年度予算額, 16年度予算額, 増減(△), 備考. Rows include 会議費, 事務局運営費, 渉外費, 事業費, 教育活動後援費, 慶弔費, 予備費, 計.

(2) その他

① 基金

Table with 2 columns: 基金, 100,000,000. Includes 足利銀行、栃木銀行、農林中央金庫、中央三井信託銀行、商工中金、日光杉並木基金.

※基金利子については一般会計に組み入れる

創立80周年記念事業同窓会決算報告

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 決算額. Rows include 広告協力収入, 同窓生基金, 在校生基金, 80周年事業準備金, 小計.

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 決算額. Rows include 名簿作成費, 母校記念事業費, 教育活動援助費補助, 同窓会費値上げ準備金, 90周年準備金, 事務局充実費, 小計, 支出残高.

同窓会定期総会報告

平成十六年度総会は平成十六年六月十九日、プラザイン・くろかみにて開催されました。平成十五年度決算および平成十六年度予算が掲載してありますのでご覧下さい。なお八十周年記念事業の決算報告も併せてご覧下さい。

一 会則規約改正

前年度総会で準会員の入会金廃止が承認されましたので今年度からこれらの予算計上はしておりません。

二 九十周年準備積立

八十周年記念事業では皆様にご支援頂き誠にありがとうございました。八十周年記念事業基金のうち四百万円を次回の創立九十周年準備金として積み立てました。

同窓会事務局からお願い

同窓会名簿発刊に関する活動は現在、行っておりません。一部の外部業者が名簿の個人情報取集を行っているようですが同窓会とは一切関係ございません。ご注意ください。

受章おめでとうございます

- 瑞宝小綬章: 菅谷 一雄氏, 黒須 靖氏
瑞宝単光章: 高久 忠雄氏, 中山 孝之氏, 石川 満氏

平成16年度役員

Table of officers: 会長 (芳典英修), 副会長 (林恭弘), 監査 (林口橋), 顧問 (一健富), 名誉顧問 (義喜政), 参事 (良勇).